

当初予算など審査！

ここを
チェック

令和6年度歳入歳出予算・ 令和5年度補正予算などを審議

予算に関する特別委員会



副委員長
今 勝吉



委員長
岩谷 司

予算に関する特別委員会は、委員長に岩谷 司議員、副委員長に今 勝吉議員が選任され、3月11日から13日までの3日間にわたって、付託された議案第1号令和6年度深浦町一般会計予算(案)から議案第87号深浦町農業委員会委員の任命の件までの議案87件、諮問第1号人権擁護委員の推薦につき意見を求めるの件1件、報告第1号専決処分した事項の報告及びその承認を求めるの件1件、合わせて89件について審査しました。審議の過程では、各般にわたり十分に議論が尽くされ、多くの意見・要望事項が提言されました。

令和6年度当初予算など 委員はここに注目

質疑応答

【学校給食無償化】 町も実施するのか

問 八木委員・工藤委員

県知事は学校給食の無償化を話しているが、町も10月から実施するのか。また、県が補助する内容は。

答 熊谷教育課長

実施する方向で検討している。児童・生徒分の給食費に県が10分の10の率で交付する。単価は、県の平均値の1食分小学校280円、中学校310円。町は、県の平均よりも小学校20円、中学校10円高いので、その分を負担する。



【小学校入学者や 給食事故】

何人入学するの 学校への注意喚起は

問 今委員

昨年、いわさき小学校に入学した児童がゼロだった。今年は、管内の小学校に何人入学するのか。また、小学生が給食をのどに詰まらせなくなったが、各校へどんな通達をしたのか。

答 草創教育課長

12月現在で、深浦小学校14名、いわさき小学校9名、修道小学校に8名が入学予定。若干の増減はあると思う。

答 熊谷教育課長

県から食べる時の注意など通知が来たので、各学校へ周知した。また新入生にも、食べ方などを指導するよう各学校へお願いをしたい。



【庁舎の光熱水費】

太陽光発電などで
電気料節約を

問 藤田委員

町が管理している施設の光熱水費の総額は、PPAモデルの太陽光発電などで電気料を節約する考えは。

答 鶴田財政課長

庁舎管理費（一般会計）の光熱水費だけでも、1300万円を超える。物価高騰の影響もあるが、対策として、庁舎、その他集会所などの照明設備のLED化で軽減を図る。

答 佐藤副町長

現在、町内で稼働している大型風力発電は、約6万5000世帯を賄えるくらいの電力があるので、民間事業者の電力を何とか町の施設にも供給できる仕組みができればと考えている。

【集会所の集約化】

集約して電気代などの削減を

問 今委員・藤田委員

各地区が高齢化で自治会の運営が危ぶまれている。各地区の集会所を集約すると電気代などが削減できると思うが。

答 鶴田財政課長

集会所は町内30か所ある。集約化で様々な経費削減が図れると思うが、避難施設や選挙の投票所にもなっていることから、関係性も十分検討していきたい。

【書かない窓口化】

導入する考えは

問 岩根委員

最近、書かない窓口化を新聞、テレビ等で聞くが、町民に特に年配の方々には、画期的なことだと思いが、導入する考えは。

答 中原町民課長

書かない窓口については、今後検討していきたい。

答 鶴田財政課長

当初予算編成で検討した。視察もしたが、経費が相当かかることが分かった。今後も、ほかの動向を見ながら検討は続けたい。

【指定ごみ袋】

さらに小さいごみ袋を

問 大川委員

現在の小さいごみ袋より、さらに小さいごみ袋が欲しいという声がたくさんあるが、何とか検討できないか。

答 中原町民課長

確かに要望がある。そこで業者に聞いたところ、作れないこととはないが単価がさらに高くなるという業者や、ごみ袋に記載する文字が小さくなり過ぎて作れない業者があつて、町では作れないこととしたが、検討していきたい。

【補聴器・ウィッグ購入助成】

制度内容と周知方法は

問 八木委員・七戸（均）委員

小さい事業だが、補聴器購入費用助成及びがん患者医療用補具購入助成への予算措置がされたが、制度内容と周知方法は、がん患者への補聴器の助成を受けるための手続等は。

答 赤石福祉課長

町に住所を有しており、両耳の聴力レベルが30デシベル以上70デシベル未満で、身体障害者手帳の交付対象にならない方や補聴器相談員から補聴器が必要と診断された方などを条件に1台当たり3万円を給付したい。今定例会で議案可決後、周知徹底に努めたい。

答 八木橋健康推進課長

今定例会で、議案が可決したら要綱等を制定する予定。現在の案は、医療用ウィッグと乳房補整具購入費用の2分の1、ただし3万円を上限として、1人につき、それぞれ1回ずつと考えている。



【带状疱疹の 予防接種】

ワクチン接種への
町の助成は

問 八木委員

80歳までに3人に1人が带状疱疹を発症すると言われている。ワクチン接種をすれば発症予防が極めて高いが、任意接種の2回接種で約4万円と高額なため、町で助成等は考えられないか。

答 八木橋健康推進課長

予防接種法に基づいて町が実施する定期の予防接種ではない。各自が任意で受ける予防接種となっている。町の助成については、予防接種の副反応等による健康被害など、ほかのワクチンと同様に安全性を考慮する必要があるため、国の動向を見ながら総合的に判断して検討したい。



【合葬墓】

基金を活用して
整備しては

問 八木委員

合葬墓について、アンケートに答えた7割近い方が整備をした方がいいとの結果だった。霊園整備事業基金を活用することも検討してはどうか。

答 中原町民課長

合葬墓の整備については、今後、検討委員会等を立ち上げて検討していく。



【耕作放棄地】

耕作放棄地など
実態調査委は
ブロッコリーを
作っては

問 八木委員

耕作放棄地や荒廃農地の実態調査はやっているのか。ブロッコリーが指定野菜へ追加が決定したが、耕作放棄地など、農地を集約してブロッコリーを作ることが検討できないか。

答 山本農林水産課長

農業委員会が毎年農地パトロールをしている。ブロッコリーが指定野菜になることで野菜価格の安定や価格下落時、不作時の価格補償が手厚くなるが、産地指定を受けなければいけない。農協や生産者と検討していきたい。

答 西崎農業委員会会長

農業委員会や各地域の方(約35人)に委託し、約1か月半にわたって、毎年8・9月に実施している。

【イルミネーション】

3年に1回ぐらいで
大きく

問 齊藤委員

町内の3か所に飾るイルミネーションを3年に1回ぐらいで大きく予算も取ってやったらどうか。

答 神林観光課長

最初に実施した令和2年度は、電飾の購入も含めて800万ほどで、翌年は、500万ほどかけてやった。数年にまとめて規模を大きくするなど、今後検討したい。



【がん検診精密検査】

要精検査の受診率
向上の取組や対策は

問 八木委員

県では、町のがん検診で精密検査が必要となった人に受診費用を県と町が半分ずつ負担する制度を始めるようだが、要精検査の受診率を向上させるための取組や対策は。

答 八木橋健康推進課長

要精密検査の未受診者に対して、1回目の受診勧奨の通知を11月中旬に行っている。それでも受診しない方や返事がない方には2回目の受診勧奨を2月の中旬に行っている。今後は、3月中旬に受診状況が不明な方に、電話連絡して確認していく。

